



①福祉グループ

リーダー
小松亜由菜さん（豊科南中）
太田優里花さん（穂高東中）
加藤優馬くん（穂高西中）
牛丸拓也くん（三郷中）
二木奨吾くん（三郷中）

私たちの提案

①福祉グループ

福祉や介護保険などについて学習し、次の項目について質問や提言をしました。

- ①高齢者福祉 ②保育 ③食習慣 ④生活習慣病

私たちの意見・提案

健康長寿のまちづくりに向け、高齢者が生きがいを感じ、子どもたちと交流できる施設を5地域に造ったり、若いころから生活習慣病予防について学ぶ機会を設けたりしてはどうでしょうか。また、保育士を増やし子育てしやすい環境づくりも提案します。

市からの回答

健康長寿のまちづくりの実現に向け、高齢者の生きがいづくりのひとつとして、地区公民館や児童館などの事業を通じ、子どもと交流する機会を増やしていきます。また、若い世代からの生活習慣病



②安全・安心グループ

リーダー
山岸大希くん（豊科北中）
富永みず希さん（穂高西中）
赤羽菜々実さん（三郷中）
松澤海飛くん（堀金中）
高井登磨くん（堀金中）

②安全・安心グループ

身近な道路や景観について学び、次の項目について質問や提言をしました。

- ①交通安全 ②特定外来生物 ③景観 ④道路・除雪 ⑤グリーンベルトの安全性

私たちの意見・提案

交通事故防止に向け、夜光反射材の普及や歩道整備などを進めるほか、通学路については、グリーンベルトの整備と併せて子どもたちにも交通安全についてもっと呼び掛けてはどうでしょうか。

また、市民が安曇野の景観保全や特定外来生物の駆除への理解を深めるため、冊子・ポスター等による啓発活動を積極的に行うことも提案します。私たちも地域で家の周りの除雪など、できることを率先して行います。

市からの回答

市民の皆さんが自らの安全を自分で守ることができるよう、警察など関係機関と協力してグリーンベルトなどの交通安全対策に取り

中学生が市政へ提言

市では、未来を担う若い世代の皆さんの考え方を市政に反映させていくため、中学生議会を開催しました。今月号では、若い視点で考えた将来のまちづくりへの提言についてお伝えします。



中学生議会を終えて宮澤市長や市の幹部職員と記念撮影（上）あいさつをする宮澤市長（右下）議事進行する議長宮澤さん（中下）一人ずつ質問・提案をしました（左下）

若い世代のアイデアを協働のまちづくりに生かす

市では11月24日、堀金支所内の市議会議場で「中学生議会」を開催しました。

この取り組みは、市の将来を担う中学生の素直な目線からの斬新な発想やアイデアを市政に反映させ、協働のまちづくりの推進に生かすことを目的にしています。

当日は、保護者や市民の皆さん、報道機関が傍聴する中、市内7中学校の2年生28人の生徒の皆さんが宮澤市長や市の幹部職員に質問や提言をしました。

学習会で私たちのまちについて学ぶ

「中学生議会」の開催にあたり、市政全般を学ぶ学習会を5月から全3回の日程で行いました。中学生は5つのグループに分かれ、市の仕事や市が抱える課題について市の担当者から説明を受けました。また、議会を進行する議長には宮澤史織さん（豊科南中）、副議長に松澤海飛くん（堀金中）が選ばれました。



市の様子や市の仕事の内容について担当者から説明を受けました。

「私が」あるいは「市民が」できることを提言

学習会を終えて、各グループでは学習成果を基に各自が質問する内容を分担し、当日の発言原稿をまとめました。発言は、学習した成果と今後の市政に対する建設的な意見を提言するようにし、協働を目的とすることから、市が行うべきことに合わせ、「私が」あるいは「市民が」できることも提言に盛り込みました。

なお、議会当日の議事録はホームページにも掲載しています。

閼穂高支所内地域づくり課
（☎82・3131代 ☎82・6622）